Strada

Panasonic®

取扱説明書

準備・基本編

ポータブルDVDカーナビステーション

品 番 **CN-DS110D** (シルバー)
CN-DS110KD (ブラック)
CN-DS110TD (ブラウン)

ご使用の前に、本書の「安全上のご注意」(4～9ページ)を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 「仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ」は、お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  本保証書は、ユーザー登録をしていただいたあとに、発行させていただきます。必ずユーザー登録をしてください。
- 「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、仮保証書/本保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ　別添付

はじめに（取扱説明書の構成）

本書と別冊の「操作編」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめにお読みください。

準備・基本編

準備から基本操作までと

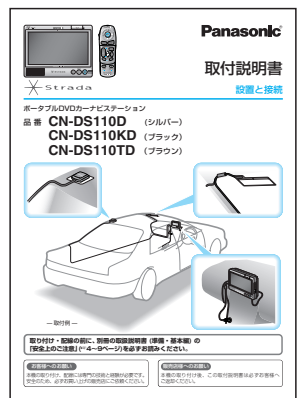
ナビゲーションの使いかたをかんたんに

説明しています。

操作編

●ナビゲーションの操作方法
●テレビ/DVDビデオを見る
●SDメモリーカードを使う
●SD覚えてルートを使う
を説明しています。

読みたいところを探すときに、ご利用ください。

●もくじ ……………… 3〜5
●さくいん（メニュー一覧から）……… 138
●さくいん（50音順）……… 140

取付説明書

●取り付けかた
●配線のしかた
●取り付け・配線の確認
を説明しています。

安全のため、取り付けと配線は、専門技術者に依頼してください。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

配線・取り付けに関するご注意

DC12V⊖アース車で使用する

本機はDC12 V⊖アース車専用です。DC24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。
火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの⊖端子をはずす

バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指定に従って配線・取り付けをする

説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

運転や視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

⚠ 警告

配線・取り付けに関するご注意

シガーライター電源から複数の電源をとらない

シガーライター電源または、アクセサリー用電源のソケットに複数の機器を接続すると、車両の定格を越えることがあり、火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因になります。

フィルムアンテナは、取付許容範囲内に取り付ける

保安基準に適合するように、説明書の指定に従って取り付けてください。
視界不良による交通事故の原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付け・配線などに保安部品を絶対に使わない

車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因になります。

分解・修理、および改造をしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。
火災や感電、事故の原因になります。

安全のため、必ずサイドブレーキコードを正しく配線する

説明書に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

ご使用に関するご注意

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがなどの原因になります。

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない

禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

機器内部に水や異物を入れない

禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。

リモコンを放置しない

禁止

運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

禁止

万一、故障（画像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない

接触禁止

落雷による感電の恐れがあります。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

ご使用に関するご注意

車載用カメラ（リヤビューカメラ）を使用するときは、必ず目視による安全確認をしながらゆっくり後退する

リヤビューカメラの映像は実際の距離と感覚が異なります。また、映し出す範囲には限界があります。画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながらゆっくり後退してください。人や物にぶつかり、事故の原因になります。

大きな音量で使用しない

禁止

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、拡張子「MP3」を付けない

禁止

MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

地図ディスクは、絶対に通常のDVD/CDプレーヤーなどで再生しない

禁止

大きな雑音が出て耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

車内ではテレビ用ロッドアンテナを伸ばさない

禁止

運転の妨げになり、事故やけがの原因になります。

⚠注意

配線・取り付けに関するご注意

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する

配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

禁止

雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

振動の多い場所や不安定な場所に取り付けない

禁止

傾いた場所、強い曲面、天井などの不安定な場所への取り付けは、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

本機の通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

配線・取り付けに関するご注意

ナビゲーション本体/アンテナは、はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける

取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。
再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。
ときどき接着の状態や、ねじがゆるんでいないかを点検してください。

- 特にスタンドは、テープだけでは強い保持力が得られません。必ず指定のスタンドを使用し、付属のタッピンねじで、しっかりと固定してください。

コードを破損しない

禁 止

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

GPSアンテナのコードは、車内へ水が浸入しないように引き込む

雨や洗車などの水が車内に浸水すると、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用に関するご注意

車載用・家庭用以外には使用しない

禁 止

車載用・家庭用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

必ず指定のACアダプターを使用する

別売のポータブルナビ専用ACアダプター以外を使用すると、故障や火災の原因になります。ACアダプターの「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

金属部の温度を確認してから、ナビゲーション本体の着脱やディスクの出し入れをする

高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、金属部(スタンドやロッドアンテナなど)が高温になり、やけどをする可能性があります。

⚠ 注意

ご使用に関するご注意

テレビ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない

禁 止

アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になります。

洗車するときは、車外に取り付けたGPSアンテナを取りはずす

脱落して事故やけがの原因になります。自動洗車機(高圧水)による洗車は絶対におやめください。

ナビゲーション本体を取りはずしたあと、スタンドに目や顔や手を近づけない

禁 止

スタンドの先端に接触して、事故やけがの原因になります。

電池は正しく使う

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

禁 止

- 指定以外の電池は、使用しないでください。
- 新・旧電池や違う種類の電池を、混ぜて使用しないでください。
- 充電・分解・加熱をする、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしないでください。
- 著しく温度が高くなるところ（直射日光のあたるところ、ヒーターの近く、窓を閉めきった車や車のトランクの中など）に、電池や電池の入ったリモコンを放置しないでください。

- 電池の⊕と⊖を、電池ケースの表示に合わせて入れてください。
- 使い切った電池は、すぐに交換してください。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。

電池を廃棄する場合は

絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

- 電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
- 液が身体や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。

使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。

安全のために走行中はテレビ (DVDビデオ) の映像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。(安全機能)

エンジンをかけて使用してください。

- エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

他の機器と接続する場合は…

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

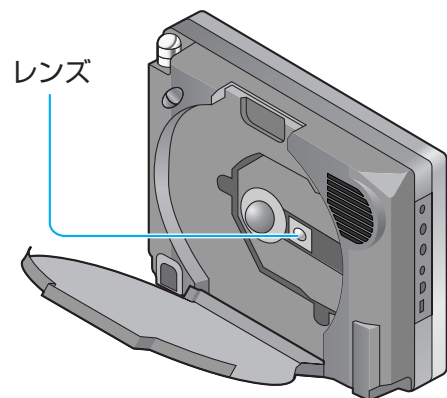
携帯電話を使用する場合は…

- 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離して使用してください。

持ち運ぶときは…

- 液晶ディスプレイ面を持たないでください。
- ディスクを取り出してください。
- テレビ用ロッドアンテナは収納し、接続している機器やコード類などを取りはずしてください。

レンズおよびその周辺には絶対に触れないでください。

- レンズが汚れるとディスクが読み取れなくなり、誤動作の原因になります。(☞73ページ)
- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
- ディスクカバーを開けたまま放置しないでください。

極度な高温・低温になる場所に放置しないでください。

- 夏季の閉め切った車内、長時間直射日光のあたる場所や極端な低温の場所に放置すると、変形・変色・故障の原因になる場合があります。
  - ・使用しないときは、スタンドからナビゲーション本体を取りはずし、常温の場所に保管してください。また、できるだけディスクを取り出し、ケースにしまってください。
  - ・車用サンシェード (サンバイザー) などで本機に直接日光があたらないようにしてください。

衝撃を与えないでください。

- 本機を落としたり、たたくなどしないでください。故障の原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。
- ボールペンなど先端の固いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。
- 液晶ディスプレイの表面の汚れなどを拭き取る場合は、付属のクリーニングクロスを使い、爪を立てずに指の腹で軽く拭いてください。
- 液晶ディスプレイに衝撃を与えないでください。
- 液晶ディスプレイを保護するため、本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。
- 低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。
  また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。
  (使用可能温度：０ ℃～40 ℃)
- 冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、水蒸気で液晶ディスプレイの内側がくもったり、露（水滴）が生じて、正しく動作しないことがあります。無理に使用せずに、本機を約１時間ほど放置してからご使用してください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 商品に添付の仮保証書 兼ユーザー登録ハガキは、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人情報（登録ポイントの住所や電話番号など）の取り扱い、管理（消去等）は、必ずお客様の責任において行ってください。
  当社は一切の責任を負いかねます。
- **お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報（登録ポイントなど）が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。**
  大切な情報（登録ポイントなど）は、万一に備えて、SDメモリーカード (別売) に保存したり、メモなどをとっておくことをお奨めします。
  (☞操作編：「SDメモリーカードを使う」)

著作権について

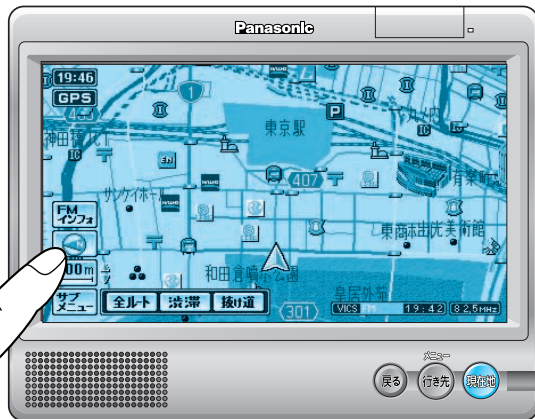
- 音楽・静止画・動画などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利者の許諾を得ないで複製（録音・録画）、配付、配信することは著作権法で禁止されています。

主な特長（上手に使って快適なドライブを）

タッチパネルで簡単操作

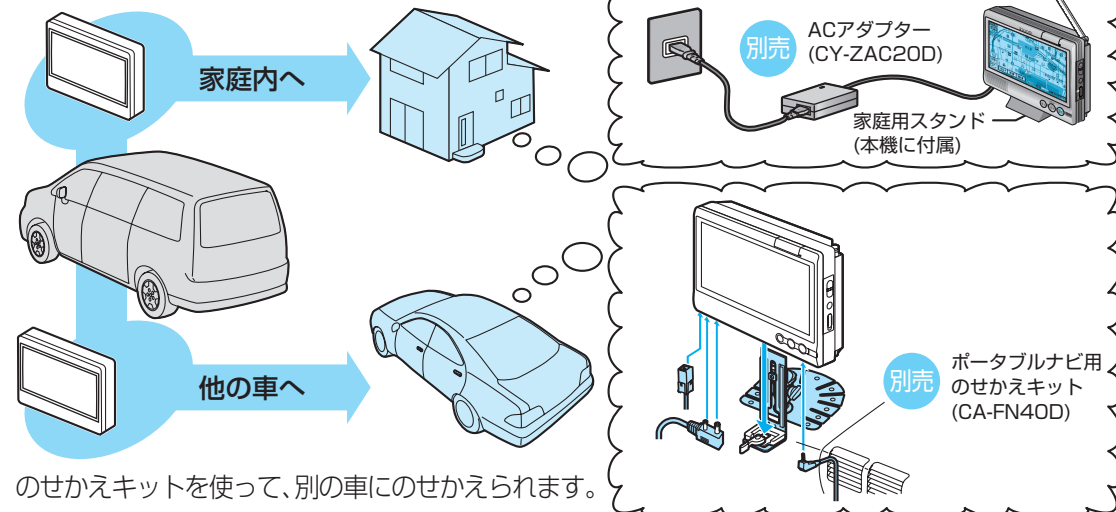
画面上の**タッチキー**に**タッチする**だけで、**操作**できます。
(軽く触れる)

液晶ディスプレイは、傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。

- ボールペンなど先端の固いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。

本書では、タッチキー操作とナビゲーション本体のボタン操作を中心に説明しています。
リモコン操作は､タッチキー操作と異なるときだけ､記載しています。

取り付け、のせかえが簡単にできます (☞操作編：「他の機器（別売品）と組み合わせて使う」)

ACアダプターと組み合わせて、家庭内でテレビ画面、DVD再生やナビゲーション画面を楽しめます。

のせかえキットを使って､別の車にのせかえられます。

見やすい地図表示とかんたん操作

豊富な検索メニュー

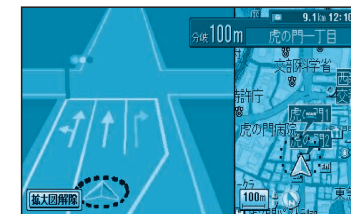
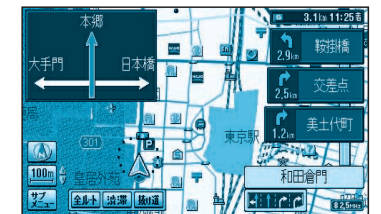
多種多彩なジャンル検索やハイブリッド検索による候補の絞込みが可能です。

かんたん操作メニュー

見やすく、タッチ操作もやりやすい、大きなメニューアイコンで、かんたん操作を実現しました。

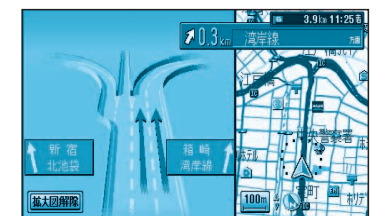
親切・丁寧な案内

分岐交差点で車線案内をわかりやすく表示します。

方面と進行方向を実際の看板と同じデザインで表示します。

(3Dレーンガイド)

(一般道方面看板表示)

都市高速の入口をリアルな3D拡大図でわかりやすく表示します。

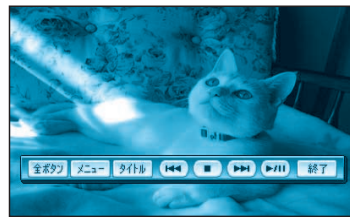
高速道路や主要有料道路の分岐や出口を看板表示と3D拡大図で表示します。

(3Dハイウェイ入口案内)

(3Dハイウェイ分岐案内)

主な特長（上手に使って快適なドライブを）

DVDビデオ再生機能（☞操作編：「DVDビデオを見る」）

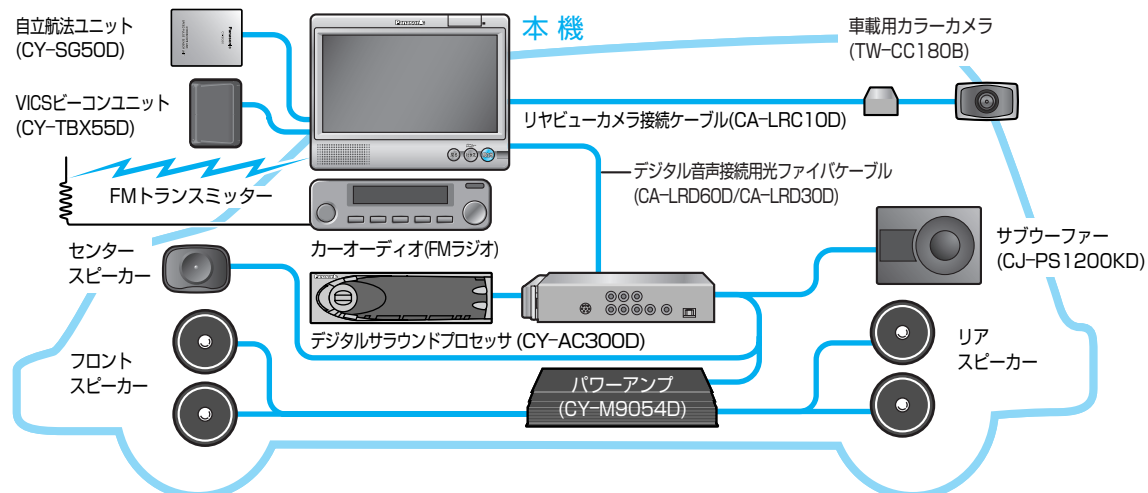
地図ディスクを取り出し、DVDビデオの再生ができます。
(☞57ページ)

※ 走行中は、DVDビデオの映像を見ることができません。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

別売品との組み合わせでシステムアップ（☞操作編：「他の機器（別売品）と組み合わせて使う」）

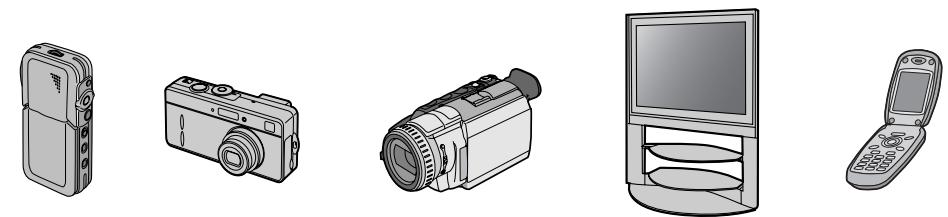
VICSビーコンユニットを接続すると、ビーコンからのVICS情報に連動して、ナビゲーションの案内を行います。

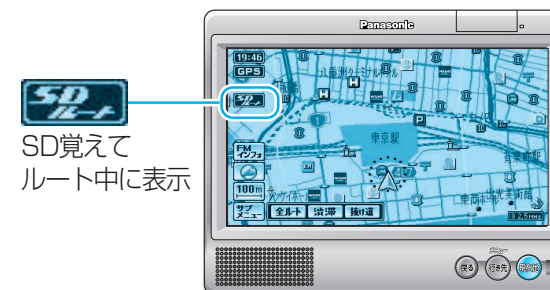
自立航法ユニットを接続すると、自車位置測位の精度をより高くできます。

カーオーディオのFMラジオを使って、DVDビデオやテレビの音声を車のスピーカーから聞くことができます。(本機内蔵FMトランスミッター)

さらにデジタルサラウンドプロセッサと接続し、システムアップすると、DVDビデオの再生時に、ドルビーデジタル5.1chサラウンドを楽しめます。

SDメモリーカードを使って（☞操作編：「SDメモリーカードを使う」）

SDメモリーカードに保存された静止画(JPEG)、動画(MPEG4)を車内で楽しむことができます。

- CD-R/RWに保存された静止画(JPEG)/動画(MPEG4)は再生できません。
- 音楽(MP3)は再生できません。

SD覚えてルートでナビゲーションを使いながらDVDビデオの音声を楽しむ
(☞操作編：「SD覚えてルートを使う」)

※別売のSDメモリーカード (128 MB以上) が必要です。

- 地図ディスクから必要な地域の地図を選んで別売のSDメモリーカードに保存すると、地図ディスクがなくても、ナビゲーション機能が使えます。(一部制限あり)
- SD覚えてルート中はナビゲーション画面を表示しながらDVDビデオの音声が楽しめます。

各部のなまえとはたらき

SDメモリーカード挿入口
● 別売のSDメモリーカードを挿入する。

SDメモリーカードランプ
● 別売のSDメモリーカードが挿入されているときに点灯する。

テレビ用ロッドアンテナ
● 家庭内でテレビを見るとき伸ばして使う。

音量 ∧∨
● 音量を調整する。

モード
● 画面を切り替える。

電源スイッチ
● 電源を入れる/切る。

リモコン受光部

現在地
● 現在地（自車位置）を表示する。

行き先/メニュー
● メニュー画面を表示する。

内蔵スピーカー（モノラル）

戻る
● ひとつ前の状態に戻す。
● 拡大図を消去/再表示する。

開ボタン
● ディスクカバーを開ける。

通風孔
※ふさがないでください。

ディスクカバー
● カバーを開けてディスクを入れる。

ヘッドフォン端子
● 市販のヘッドフォンを接続する。

音声/ビデオ入出力端子
● 市販のビデオや家庭用テレビなどへ接続する。
VTR時：入力
その他：出力

車載用カメラ接続端子
● 別売の車載用カメラを接続する。

自立航法ユニット接続端子
● 別売の自立航法ユニットを接続する。

VICS（ビックス）ビーコン接続端子
● 別売のVICSビーコンユニットを接続する。

GPS（ジーピーエス）アンテナ接続端子

電源コード接続端子
● 電源コードまたは別売のACアダプターを接続する。

ダイバーシティアンテナ接続端子（外部アンテナ）
● 別売のダイバーシティアンテナを接続する。

アンテナコード接続端子（灰色）
● 付属のフィルムアンテナを接続する。

デジタル出力端子
● 別売のデジタルサラウンドプロセッサを接続する。

リモコンの使いかた（ナビゲーション操作時）

操作切り替えスイッチ
● リモコンの機能を切り替える。通常は、「NAVI」側で使用してください。

戻る
● ひとつ前の状態に戻す。
● 拡大図を消去/再表示する。

広域/詳細
● 地図の縮尺を切り替える。

渋滞/抜け道
● 渋滞情報(VICS情報)を表示する。
● 抜け道探索する。

ナビ/TV
● 「ナビ画面※1」「テレビ画面」「VTR画面※2」「カメラ画面※2」を切り替える。
※1 DVDビデオが挿入されている場合は、DVDモードになります。
※2 ビデオ入力、カメラ入力が「する」に設定されている場合のみ切り替えられます。

二画面
● 1画面/2画面を切り替える。

リモコン送信部
● 本体のリモコン受光部に向けて操作する。

ジョイスティック/決定
● 地図をスクロールする。
● 項目を選択、決定する。
● サブメニューを表示する。

行き先/メニュー
● メニュー画面を表示する。

現在地
● 現在地（自車位置）を表示する。

音量 ∧∨
● 音量を調整する。

ビュー
● 地図の種類を切り替える。

操作画面
● 2画面時、操作する画面に切り替える。

スライドカバーを開けると

10キー（1～0）
● 数字や文字を入力する。

3Dキー
● 地図を傾ける。
● 地図を回転させる。

▶
● ワンタッチ探索画面を表示する。

電話番号検索（0）
● 電話番号検索画面を表示する。

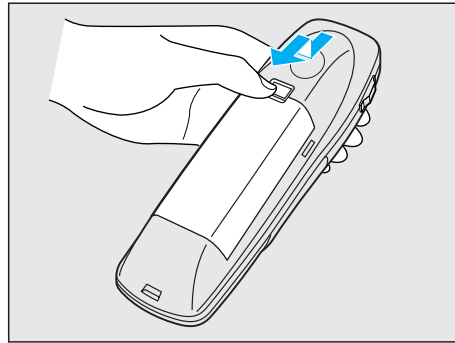
検索
● メニュー画面（行き先：他の方法）を表示する。

■ ナビゲーション本体の   とリモコンの   は、同じはたらきです。どちらのボタンを押しても同じ操作ができます。

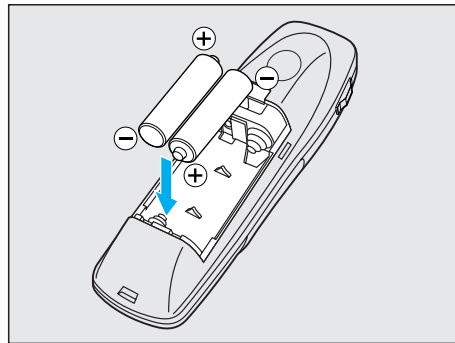
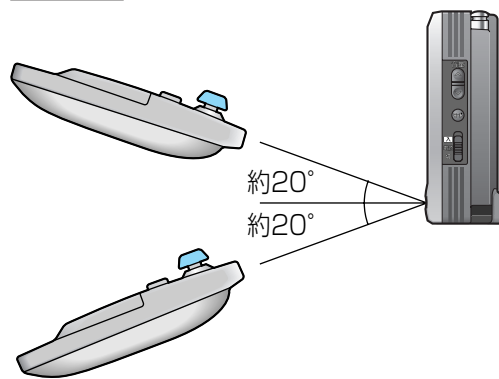
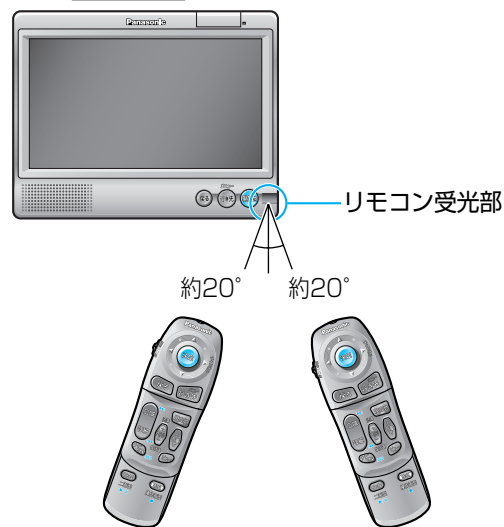
■ 画面にタッチする代わりにリモコンの（決定）で項目の選択、決定※ができます。
※画面によっては、項目の選択・決定以外のはたらきもします。

準備・確認

リモコンに電池を入れるには

1 ふたを開ける。

2 電池を入れて、ふたを閉める。

- 使用電池：単3形乾電池（R6PU）2個
- 電池寿命：通常の使用状態（常温時）で約5カ月（マンガン乾電池）

電池の取り扱いについては、取り扱いの注意書きをよくお読みください。（☞9ページ）

リモコンの使用範囲について

お願い

- リモコンホルダーから取り出して、操作してください。

操作切り替えスイッチについて

リモコンの機能を切り替える。

NAVI（ナビ）
通常は「NAVI」側で使用してください。

AV（エーブイ）
SD覚えてルート※中（ナビ画面を表示中）に、DVDビデオ/テレビの操作をするときは、「AV」側に切り替えてください。

例：SD覚えてルート中にテレビの操作をするとき、「AV」側に切り替える。

※SD覚えてルートとは、ナビゲーションを使いながらDVDビデオやテレビの音声が楽しめる機能です。

リモコンホルダーの取り付けかた

付属の両面テープで取り付ける。

お願い

- 運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 直射日光のあたるダッシュボードの上などには、取り付けないでください。高温により変形することがあります。

ディスクを入れるには

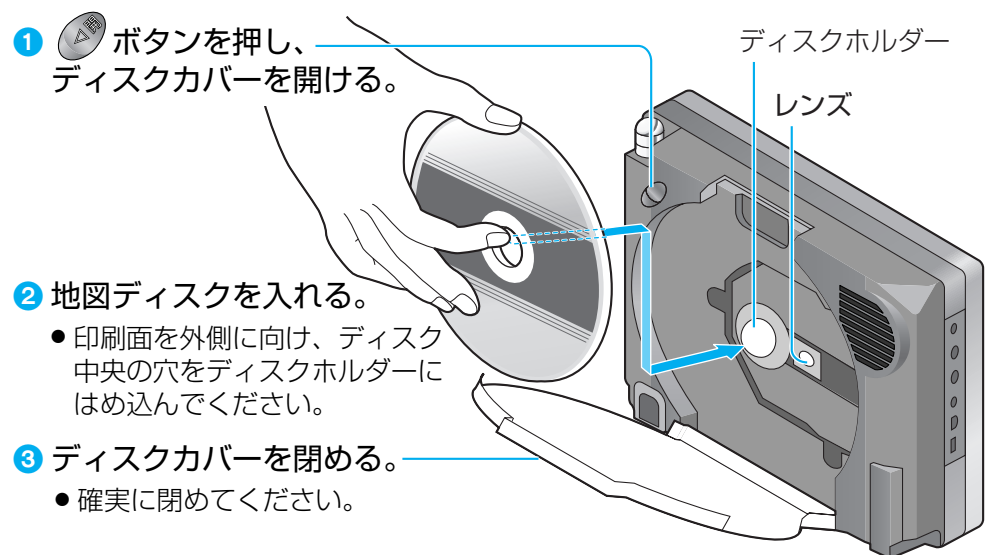
1 ナビゲーション本体をスタンドから取りはずす。

❶ 電源を切る。
❷ ナビゲーション本体をスタンドから取りはずす。
❸ 接続されているコードを、すべて取りはずす。

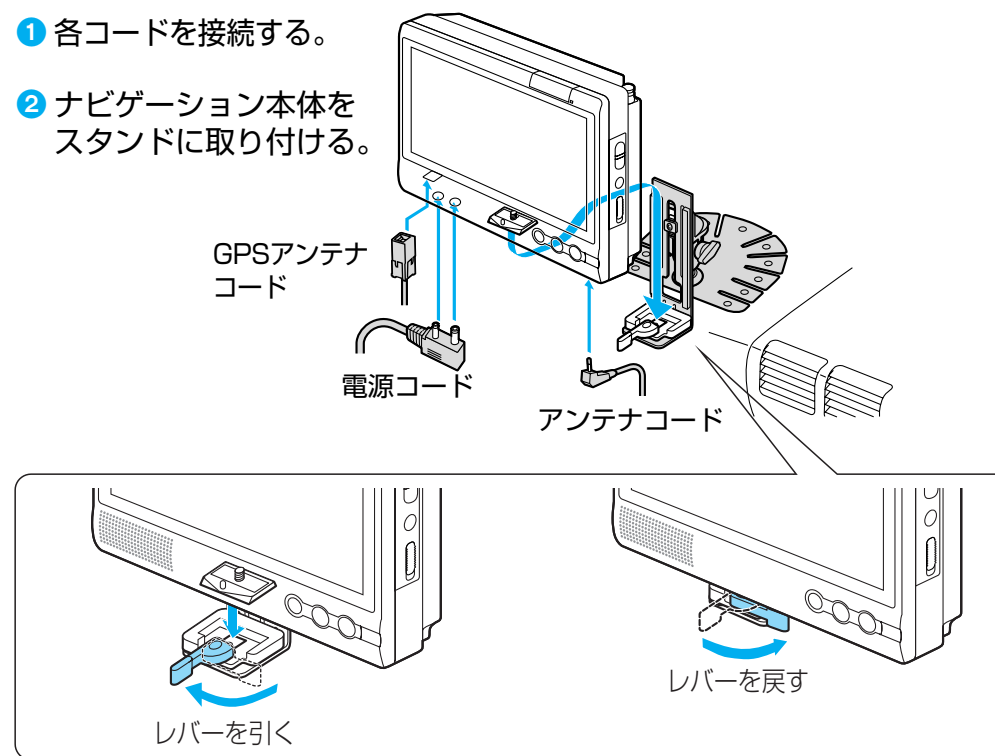
2 地図ディスクを入れる。
※DVDビデオディスクの出し入れも同じ手順です。

❶ ボタンを押し、ディスクカバーを開ける。

❷ 地図ディスクを入れる。
- 印刷面を外側に向け、ディスク中央の穴をディスクホルダーにはめ込んでください。

❸ ディスクカバーを閉める。
- 確実に閉めてください。

- レンズおよびその周辺には、絶対に触れたりよごしたりしないでください。
- 本機の動作中に、ディスクカバーを開けないでください。

3 ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。

❶ 各コードを接続する。
❷ ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。

ディスクを取り出すには

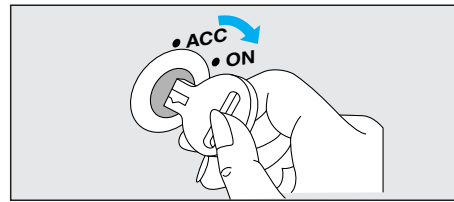
① 電源を切る。
② ナビゲーション本体をスタンドから取りはずす。
③ 接続されているコードを、すべて取りはずす。
④ ディスクカバーを開けて、ディスクを取り出す。
⑤ ディスクカバーを閉める。

ディスクホルダーを押さえながら、ディスクの端に指をかけて取り出してください。

お願い

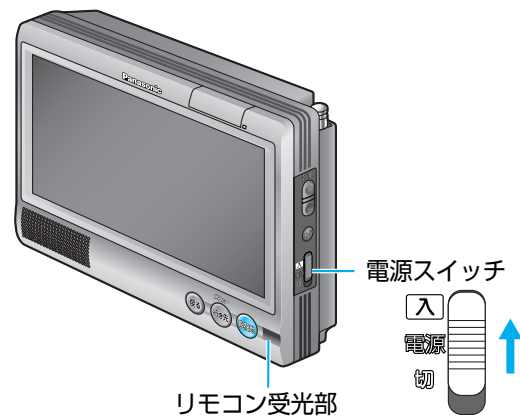
- 地図ディスクは、必ず、付属品（本機専用）を使用してください。
- 必ずディスクの回転が止まってから取り出してください。
- 取り出した地図ディスクは、必ず専用のケースに保管してください。地図ディスクの汚れは読み込み不良の原因になります。
- 市販の地図ディスク［ナビゲーションシステム研究会（ナビ研）の規格に準拠したものも含む］は、本機では使用できません。

電源を入れるには

1 車のエンジンをかける。
またはACCに入れる。

2 ナビゲーション本体の
電源スイッチを「入」にする。

● オープニング画面のあと、警告画面が表示されます。

お願い

● 電源は、必ず停車してから入れてください。
● できるだけオープニング画面が終了するまで、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

3 警告画面の注意事項を確認して、
確認 にタッチする。

● 現在地画面（自車位置）が表示されます。
● リモコンで操作するには、決定 を押してください。

お知らせ

● テレビ（VTR/カメラ）画面が表示されたときは、現在地を押すと、ナビゲーション画面に切り替わります。
● 長時間ACCをONにしたままでエンジンをかけない場合、バッテリーがあがる原因になります。

お願い

● ACCをOFF（またはエンジンを切る）にすると、ナビゲーションの電源も切れます。
ただし、車両によっては、ACCをOFF（またはエンジンを切る）にしても、ナビゲーションの電源が切れない場合があります。車を離れるときは、電源スイッチを切ってください。バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなる場合があります。

自車位置を確認するには

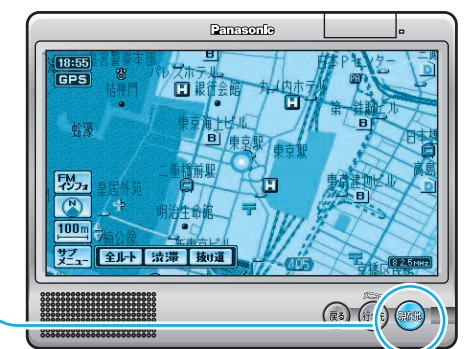
GPS衛星から信号を受信して、自車位置が表示されます。見通しの良い場所で確認してください。

● 初めて電源を入れたときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図が表示されます。

1 GPSマーク（GPS）が表示されていることを確認する。

● GPSマークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。
（☞操作編：「確認する」）

2 現在地 を押して、
現在地画面を表示させる。

● リモコンで操作するには、現在地 を押してください。

別売の自立航法ユニット（CY-SG50D）を接続しているときは

**見通しの良い道路を、そのまま
しばらく走行する。（30分以上）**

● 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

自車位置が正しく表示されないときは

以下のような原因が考えられます。

■ビルの谷間などを走行した。（GPS衛星から信号を十分に受信できなかった。）
→ GPS衛星からの受信状態を確認のうえ、見通しの良い道路を走行してください。

■GPSアンテナを車内に設置している。
→ 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。

■より正確に表示させたい場合は
→ 別売の自立航法ユニット（CY-SG50D）をご利用ください。
（☞操作編：「他の機器（別売品）と組み合わせて使う」）